

栃木県立宇都宮女子高等学校数学部の活動方針及び年間活動計画等		
顧問名	◎加藤弘子 ○江田均、外館篤	
目標	○数学への興味、関心を喚起し、数学的に思考し共同して問題解決する力を養成するとともに、大会等への参加を通して視野を広げる。 ○高校から大学への橋渡しとなる数学的知識や、身近な問題を数学的に考えることを通して、自ら課題を発見し、探究する態度を育成する。 ○異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と教師との望ましい人間関係の構築を図り、表現力、コミュニケーション力、協調性を育成する。 ○安全管理を徹底し、活動中に起きた「ヒヤリ・ハット」事例を共有して安全対策を講じるなど、学校全体での意識高揚をはかりながら、生徒が安心安全に参加できる運営を行う。	
活動方針	○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の学力向上と生徒間や教師との望ましい人間関係の構築を目的として、ゼミや話し合い、共同作業を多く取り入れる。 ○個人の学力向上に留まらず、級友や後輩に対して協力したりアドバイスできる機会を作る。 ○日本数学オリンピック（JMO）、ヨーロッパ女子数学オリンピック（EGMO）、数学選手権予選（数学甲子園）、数理の翼、数学検定等に積極的に参加し、研鑽に努める。	
休養日	○大会直前以外は、原則として土曜、日曜、祝日は活動しない。	
活動時間	○1日あたり約30分の活動とし、大会前の解説会も最大1.5時間程度とする。 ○解法の研究や、調べ学習などは、無理のない程度に生徒の自主活動とし、図書館や家庭での学習とする。 ○活動はできるだけ短時間で、合理的かつ効率良く行う。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。	
月	参加予定大会等	その他
4月		昨年度の課題解説
5月		数学オリンピック過去問の解説。課題研究開始
6月	○数学検定2級、3級（希望者のみ）	数学の定理と証明の演習。課題研究
7月	○全国数学選手権予選(数学甲子園2023)	数学オリンピック過去問の解説、演習。課題研究
8月	○全国数学選手権本選(予選通過の場合) 事前問題作成 ○数理の翼（選抜された場合） ○日本フィボナッチ協会第21回研究会	数学オリンピック過去問の解説、演習。課題研究
9月	○全国数学選手権本選(予選通過の場合) math battle 東京都	数学オリンピック過去問の解説、演習。課題研究
10月		数学オリンピック過去問の解説、演習。課題研究
11月	○ヨーロッパ女子数学オリンピック（EGMO）予選	数学オリンピック過去問の解説、演習。課題研究
12月		数学オリンピック過去問の解説、演習。課題研究
1月	○日本数学オリンピック（JMO）予選 ○ヨーロッパ女子数学オリンピック日本代表選手最終選考会(予選通過の場合)	課題研究
2月	○日本数学オリンピック（JMO）日本代表選手候補選抜(予選通過の場合) 早稲田大学	課題研究
3月	○日本数学オリンピック（JMO）日本代表選手最終選抜合宿(本選通過の場合) 代々木	課題研究